

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）

平成25年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
地震地すべりの安定解析のためのすべり面の繰返し軟化定数の簡易決定法の開発 (研究期間：H25年～H27年)	群馬大学 教授 若井 明彦	B
<p>&lt;研究概要&gt;</p> <p>大規模地震時には山地で地すべりが発生し、地塊が河道を閉塞することがある。このような長距離移動の直因は繰返し载荷によるすべり面の急速な軟化である。地震地すべり斜面の安定性検討に、繰返し軟化を考慮した力学モデルに基づく有限要素解析が活用されることがあるが、すべり面材料の力学試験は必ずしも容易でなく、既往の資料等を活用して、適切と考えられる軟化定数を推定することもある。</p> <p>本研究では、2004年新潟県中越地震時の芋川流域の地すべり資料等に基づいて、入手容易な広域情報と簡易な現場調査等の資料から軟化定数を決定するための簡易手法に関する検討を実施した。</p>		
<p>&lt;事後評価コメント&gt;</p> <p>本研究は、大規模地震時の山地における地すべり土塊の長距離移動発生予測を現象論的な解析手法を行い、簡易な現地調査等の資料から軟化定数を決定する手法を提示しており、河道閉塞の発生予測精度の向上が期待できる。</p> <p>なお、芋川流域における実現象を用いた解析結果の検証において見られた一部の不整合が課題である。</p> <p>今後は、本研究で得られた推定式の力学的意味の考察、様々な地質における適用性についての研究を実施し、発生予測の一般化に向けて、検討を進めて頂きたい。</p>		

※評価基準

A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった

B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった

C：一定の研究成果があった

D：研究成果があったとは言い難い